

入場
無料

逃げ遅れる人々

東日本大震災と障害者

～ その時、あなたならどうしますか？ ～

2025年

2月14日(金)

13時30分～16時

綾瀬市オーエンス文化会館

小ホール [綾瀬市深谷中1丁目3番1号]

【定員：150名 お申し込み
先着順】

あの日から、
私たちに何があったのか…

マスメディアでは断片的にしか取り上げられない、被災地の障がい者を取り巻くさまざまな課題や問題点が浮かび上がる！

被災地の障害者を追ったドキュメンタリー映画の上映(約70分)
& 被災された障害当事者(小野和佳氏)が体験談を語る！

※ドキュメンタリー映画は聴覚に障害がある方も観られるように字幕付きです。

[小野和佳氏プロフィール] 肢体に障害があり車いすを使用。当時、所属していた「福島県・いわき自立生活センター」で被災後、避難生活をされました。現在は神奈川県内で活動をされています。



【お申し込み：詳しくは裏面をご覧ください。】

主催：綾瀬市文化会館等指定管理者(株)オーエンス / 綾瀬市身体障害者福祉協会

障害があるということは、災害時には普段以上のハンディとなる！



2011年3月11日の東日本大震災、未曾有の大災害の中、障害を持つ人々に何が起きたのか？ 福島県を中心に被災した障害者とそこに関わる人々の証言をまとめた。

障害ゆえに、地震や津波から身を守れず、また必要な情報も得られない…。「ここではとても生活できない」、「周囲に迷惑をかけるから」と、多くの障害者が避難を諦めざるを得なかった。

そうした中で、避難所に入った障害者を待ち構えていたのは…。更に仮設住宅へ入居しても、そこでも大変な不自由が待っていた。原発事故により市民の姿が消えた避難区域には、取り残された障害者が不安な日々を送っていた。大震災に翻弄される障害者と、その実態調査・支援に奔走する人々の困難の日々。

今まで住み慣れた土地を追われ、避難先で新たな生活を模索する時、涙とともに放郷への思いがあふれる。被災地の障害者を取り巻く様々な課題や問題点が浮かび上がる。

ドキュメンタリー映画「逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者」
監督：飯田基晴（「あしがらさん」「犬と猫と人間と」）
製作：東北関東大震災障害者救援本部

手話通訳、要約筆記、ヒアリンググループ、バリアフリー席などの必要に応じた合理的配慮あり！

【申込み】12月19日（木）10時～受付開始 講座名、氏名、電話番号を中央公民館へ
電話：0467（77）8181 / Fax：0467（79）0141 / Mail：kouza@ayase-manavi.net

※ メールの方は、件名に「逃げ遅れる人々」、本文に「氏名」、「電話番号またはFAX番号」、必要な情報保障・配慮を明記してください。

※ 介助者も併せてお申し込みください。

FAXでお申し込みの場合は、必要項目をご記入の上送信ください。【Fax】0467（79）0141

FAX用申込書	逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者 ～ その時、あなたならどうしますか？ ～
ふりがな お名前 (介助者お名前)	<p>■ 必要な情報保障に○をしてください 手話通訳 ・ 要約筆記 ・ ヒアリンググループ</p> <p>■ 配慮が必要なことをお知らせください</p>
連絡先 電話/FAX： メールアドレス：	

※ 個人情報は適切に管理し、本講座の目的のみに使用しますのでご承知ください。

※ メールでのお申し込みの方へ：1週間以内に確認の連絡がない場合は中央公民館までお問合せください。